



vol.  
**31**

サポセンニュースレター 2023年雨蛭号



p4-5\_【サポセンの事業報告】

- 事業1 持続可能な市民社会を実現する実践研究会 2022
- 事業2 活気あふれる団体運営力を高める！松戸e-コミュニティ塾 2022
- 事業3 まつど地域活躍塾第6期修了式

p6\_【チャレンジャー】  
やまり子育てカフェ つむぎ

p7\_【スタッフコラム】  
社会教育士、サポセンに2人います！

p7\_サポセン新規届出団体

p8\_【ある日のサポセン】  
印刷機を使ってみませんか【製版編】



サポセン  
メルマガ登録はこちら！  
<https://bit.ly/3gf0dh6>



**まつど市民活動  
サポートセンター**

<http://www.matsudo-sc.com/>

特集

こどもは、みらい。

2023

# みらいフェスタ



子どもが「主役」になる「体験」する「学ぶ」  
みらいフェスタ 1日



2023年3月25日(土)

- 場所** 松戸中央公園→雨天のため変更：  
まつど市民活動サポートセンター
- 出展団体** 22団体(※出展申し込み48団体～雨天・  
会場変更のため26団体が出展見合わせ～)  
19ブース5ステージ(飛び入り含む)
- 来場者数** 延べ約1,000名

### みらいフェスタの目的

松戸の「市民活動」をより広く、  
多くの人たちに知ってもらい、  
身近に感じてもらうこと



雨天でも、会場には  
多くの方が集まりました!

実行委員メンバーや出展団体の皆さんが、  
雨予報を2、3時間ごとに確認する1週間を経て、  
いよいよ当日。  
早朝から大雨で、雨天会場のまつど市民活動  
サポートセンター開催にシフトし、行いました。  
参加団体数は申し込みの時から半分くらいに  
減りましたが、皆さん気持ちを切り替え室内  
バージョンの設えを臨機応変につくり、足りな  
いものなどもお互いに協力、融通し合いながら  
実施しました。  
全体的にコンパクトな「みらいフェスタ」と  
なりましたが、その分ゆったりと過ごすこと  
ができ、来場の方々との交流もじっくりと  
することができました。普段ほとんど話せない  
団体同士でも活動紹介がし合えるなど、良い  
面もありました。  
2年続けて雨模様のみらいフェスタになりま  
したが、来年は桜のにおいを感じながら屋外で  
できると思いますね♪

## 楽しむ



松戸 KIDS チアダンスサークル  
Candy Girls

届け!笑顔と元気!  
キッズ・チアダンス



探求型スクール C-Quest  
子ども企画手作り射的



おんがく集団 四分休符  
手作りマラカスでみんなで演奏

marble choco  
キッズダンス



## ステージ

向日葵太鼓  
和太鼓の演舞



## 学ぶ

狭山事件にとりくむ東葛住民の会  
カーリングで楽しみながら学ぼう



くらしの中の  
SDGs シール投票



まつどゼロウェイスト

ごみの重さを  
調べてみよう



紙芝居を見て  
みんなでごみを  
分別したよ

## ものづくり



移動科学館  
Science a GoGo  
手作り万華鏡をつくらう



墨彩会

はがきに墨絵を  
描いてみよう



ピクシーファミリー  
オリジナル缶バッジづくり



チビくんも安定の  
大人気ぶり!



## 体験する

NPO 法人さんま

お仕事体験!  
こどものまち&  
駄菓子屋さんちゃん



松戸ディスクゴルフ体験クラブ  
ディスクゴルフに初挑戦!

## 飲食



まつかぜの会  
豆のちから  
雨のなかの展



揚げたて  
おからドーナツ

すこっぶくん  
ファミリー



たんぼ風の  
米もち焼き



まつどでつながる  
プロジェクト  
運営協議会

駄菓子屋カフェ  
くるくる



チキンこっぺ



2023年1月28日(土) オンライン開催  
 持続可能な市民社会を実現する実践研究会2022

「ごちゃまぜで社会は変えられる!？」  
 ～重ねることによって実現できるコミュニティの可能性～

昨年度に引き続き「地域共生社会」を本研究会のテーマに、今回は「誰もが人とのつながりを感じられる社会」を目指し、栃木県で高齢者の孤立など様々な社会課題に向き合っている一般社団法人えんがお(以下、えんがお)代表の濱野将行さんをお招きし、えんがおの事例からごちゃまぜの可能性を伺い、参加者の皆さんと「ごちゃまぜ(全員参加型)」の居場所の在り方について考えていきました。

えんがおは高齢者の孤立予防・解消ができる地域の仕組みづくりを中心に活動してきました。しかし、高齢者の問題を高齢者だけに引き合っている問題も解決しないことに気付き、世代や障がいの有無に関わらず全ての人が日常的に関われるような仕掛けをしました。徒歩2分圏内にある7軒の空き家を活用し、障がい者グループホームや地域サロン、無料宿泊所などを展開しています。

講演では、「子どもは子ども、高齢者は高齢者、認知症は認知症など」のように「分断」すると、苦手が「できない」になる。分断は弱みが強調され生きづらくなる。誰にでも苦手なことはある。大事なものは混ぜること。できることや得意なこと、交わること。そうすることで弱さを再配分することができ、みんなで補い合える。のだと教えていただきました。

最後に、一つの深いつながりに依存しない。誰かとのちよっとしたつながり(例えば挨拶程度の関係がある地域)が自殺希少地帯の共通点だと述べた著書『その島のひとたちは、ひとの話をかかない』森田すいめい著)を紹介していただきました。



2023年1月21日(土) 連続講座

活気あふれる団体運営力を高める!  
 松戸e-コミュニティ塾 2022

団体からの相談がよくある「新しいメンバーを増やしたい」「やりがいを実感できる機会をつくりたい」「主体的に取り組みたい」を増やしたい、「意見が活発に出てくる会議にしたい」など、団体運営に必要なマネジメント項目を体系的に、6団体が学びました。

この講座は連続講座で、個人で「動画による学び(2回)」を行った後、「学びを深めるスクーリング(リアル会場2回・Zoom2回)」に参加し仲間と演習や議論をするという、反転授業形態で行われました。

最終回の成果報告会では、参加者が講座を通じて学んだことやこれから実践していきたいことを発表し、この講座の開発者であるNPO法人CRファクトリー代表の呉さんから実践に活かせるコメントとともに「この何年間の中で一番熱量の高い団体だった」との感想をいただきました。



チームの運営がぐっと楽しくなる!!



3/4(土) 成果報告会



2023年2月21日(火)

まつど地域活躍塾  
 第6期修了式

昨年6月に「まつど地域活躍塾」に入塾した44名が、2023年2月に修了式を迎えました。その中で、塾生の発案で「なごり雪」を全員で合唱しました。

いま春がきて 君はきれいになった  
 去年より ずっときれいになった  
 長いようであつという間の約9か月間でしたが、不安の入り混じった入塾式の時とは違ってかわって晴れやかな表情。それぞれ今後の抱負を発表され、修了生の今後の活躍がますます楽しみにになりました!

がんばりました!



徒歩2分圏内に7軒の空き家を活用し、「ごちゃまぜのまち」を目指しています



「人とのつながりの希薄化」の影響で、さまざまな社会課題がある中で解決策の一つとして「ごちゃまぜ」の可能性を知る機会となりました。



お問合せ

代表：上島由佳利さん
E-mail: yakirikosodatecafe@gmail.com
詳細：https://lit.link/tsumugi3 (右記QRコード)



私たちは、千葉県松戸市の矢切地区で「子どもはみんなで育てたい！」を合言葉に、地域の繋がりをつむいでいます。



メンバー：4名(みな、矢切に住むママさん)
(左から)二村さん、郷州さん、上島さん、寺下さん



社会教育士、サポセンに2人います！

令和5年3月付で、サポセンコーディネーターの井坂とともに講習を受け、「社会教育士」の称号を得ることができました！
「社会教育士」の詳細についてはぜひ一度、文科省の特設サイトをご覧ください！
「社会教育士」の詳しい内容は、知識や実践的な専門性(ファシリテーションやコーディネーションなど)を身につける講習を4科目受講し、修了することで名乗れる称号です。令和2年度から始まり、行政職員・NPO職員・企業人・学校の教職員と参加対象も幅広く受講できます(参加者が多い場合は受講できない年もあり、私と井坂は半分ずつ科目を受講しました)。

では、何をすべきかとモヤモヤしていた矢先、「社会教育士」なるものがあり、さらにはNPO人材にも広く開かれていることを井坂から知り(しかも費用はテキスト代のみ！)、これだ！と一緒に受講することを決めました。
受講中は新しい膨大な知識量に圧倒されつつも、社会教育においても近年、地域との協働・コミュニティの活性化についてかなり重要視されていることを知り、社会教育は市民活動にも近い位置にあるのではないかと、ということを感じました。その一方、近くにあるはずなのに情報がなかなか流れてこない難しさも垣間見えたが、企業人・NPO等多様な人材が社会教育士として活動していくことで、今後そういった情報の流通や幅の広がりも期待されるのではないだろうか。

上島さんは、矢切で育ち今も矢切駅近くに住んでいます。子育てをする中で、親子で集まったり通ったりできる場所が地域にほとんどないと感じていました。そこで、地域の繋がりのためにできることから始めようと、意気投合したママ友たちと、子育て中のママさんはもちろんだれでも集まれるカフェを開くことを思いつき、2022年5月に初めてコーヒーの会(無料)を開催しました。
上島さんはもともと子どもが好きで、子育ては自信を持って出来ると考えていました。しかし、東日本大震災の翌年2012年に子どもが生まれ実際にママになってみると子育ては予想以上に難しく、いつもイライラし「母親ってなんて大変なのだろう。子育てはひとりでは無理」と思ったそうです。その経験から、他のママたちのサポートをしたいという思いが芽生えました。
暫くは安定して子育てとお仕事ができいていましたが、コロナ禍の影響もありお子さんが不登校になったことで仕事も辞めざるえない事になり、親子で家に閉じこもる日々が続きました。そこで、上島さんは親子で日本中を旅することにしました。友人に「旅スクリーリング」と名付けて貰えたその中でお子さんはありのままを受け入れてもらえる経験を積み、元気になっていったそうです。
矢切に帰ってきた上島さんは、いつも小さな子どもと二人きりで公園で遊んでいるママや散歩をしているママが目に入るようになり、「ママたちのサポートをしたかった気持ち」を思い出し、同じく地域のために何かしたい！と願うメンバーとともにやり取り子育てカフェつむぎを立ち上げました。

制度化されたばかりでまだまだ見えづらい人材ですが、まずはサポセンに2人、社会教育士がおりますので、ぜひお気軽にお声がけください！

市民活動と社会教育の架け橋になれるようがんばります！(井坂)

ぜひお気軽にお声がけを！(大石)



文部科学省「社会教育士って何？」
https://www.mext.go.jp/a\_menu/01\_1/08052911/mext\_00667.html



まつど市民活動サポートセンター
コーディネーター
大石 果菜

今後について
地域のつながりが希薄になっているからこそ生まれているであろう社会の歪みを、つながりを作ることで、一つ一つ解消していきたい。
自分たちの願いで始まったけれど、地域の人たちがやりたいことも応援して一緒に地域を作っていきたい。
いずれは空き家を借りて地域の皆さんの居場所づくりが出来たら、と考えています。



代表
上島さん

場所
矢切・北総公園となり駐車場、矢切神社会館など
やっていること
カフェ(コーヒーやお茶を飲みながらのサロン形式)、子ども食堂、ハロウィンイベント、ラテアート、アンガーマネジメント、地域や繋がりを活かした場づくり
参加してくれる皆さん
0歳~90代様々な方(毎回20組くらい)
いつから
2022年5月



NEW REGISTRATION

サポセン
新規届出団体
を紹介します！

2023年3月1日~6月30日
(届出順・敬称略)

- 子どもの未来を考える会(略称こみか) ■アンサンブル小金 ■まつどゼロウェイスト
■市民健康促進会 ■ゆうかり町会 ■浅間台フォトクラブ ■秋山自治会
■児童家庭支援センター オリーブ ■ひがし東京野尻湖友の会 ■NPO法人松戸市民劇団
■上本郷あそびくらぶ ■松戸市母親大会実行委員会 ■みんなの幸せは 地域の幸せ
■Chouette ■飯田書道教室 ■松戸南父母と子どもの会 ■相模台町会 輝くさがみクラブ
■松戸手をつなぐ育成会 ■YOGA ココロ リセット ■BOX 010
■人材パワーアップセンター 第三者評価 ■サークル・ピアチャーレ
■スウィング スマイル バンド ■B・D練生クラブ
■社会福祉法人親愛会 特別養護老人ホーム親愛の丘 ■柿ノ木台小学校 家庭教育学級
■金ケ作陣屋研究会

# 印刷機を使ってみませんか「製版編」

サポセンには印刷室があり、2色同時印刷機で高速印刷ができます。チラシや、会議・講座用に資料をたくさん作りたいたときは印刷機がおすすりめです。印刷には「製版」が必要ですが、そこが「難しそう」と思っている方も多いのではないしょうか？今回は「製版」についてのお話です。

## 2色同時印刷とは

印刷機は色ごとに版を作り、そこにインクをつけて印刷します。昔ながらの版画をイメージしてみてください。黒の版を刷って乾いてから、もう一色の版を刷りますよね。それを同時に2色刷ることができるということです。

サポセンには黒・赤・緑の3色を用意しており、そこから1色を選んで単色刷り、または2色を選んで2色刷りができます。



詳しくはRISOの「2色刷りナビゲートブック」を印刷室に用意してありますので、ご覧ください。

一度やってみると意外にカンタン！



ヒントの顔写真などがある原稿は、黒+赤の2色がおすすりめ！

紙の原稿からの製版  
製版は印刷機で行います。2色刷りの場合、使いたい2色で作成した原稿があるとスムーズですが、フルカラーの原稿からも2色に分版して製版できます。2色に分ける方法が数種類から選べますので、わからない場合はサポセンコーディネーターにお尋ねください。



## データからの製版

PDFなどのデータから製版するには、専用のドライバをPCにインストールする必要があります。ドライバはRISOのホームページからダウンロードできます。PDFデータをドライバを使って分版し、USBメモリに入れてお持ちください。詳しく知りたい方はサポセンコーディネーターにお尋ねください。



印刷機コストは製版に50円、その後の印刷は0.3円/枚です。(用紙別別) A4サイズ100枚を白黒コピーすると1000円ですが、印刷だと50円+0.3円×100=80円で済みます。**枚数が10枚以上ならコピーより印刷機がおすすりめです。**



用紙は各自で用意ください。サポセン受付でも販売しています。**1冊(500枚) A4/500円 A3/1000円**

※印刷室の利用は無料です。予約はできないので直接お越しください。空いていればすぐに利用できますが、他の方が使用中のこともあります。余裕をみてお越しください。(掲載の機種・価格は2023年6月現在のものです。)

## サポセンニュースレター



### 第31号(2023年雨蛭号)

発行日:2023年6月30日  
(※年4回発行)  
発行元:まつど市民活動サポートセンター  
(指定管理者 NPO法人まつどNPO協議会)

「ぼっく」の主な設置場所 松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅などに設置しています。

### 「ぼっく」設置協力店

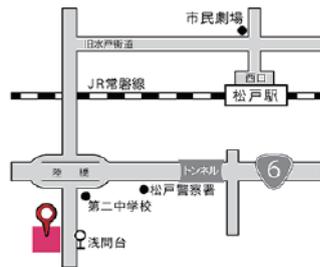
- Sampo Café(八ヶ崎7丁目)
- 子育てつながるセンター co-no-mi (本町13-27)
- 松戸観光案内所(本町7-3)
- やしま商店(本町6-3)
- 隠居屋 IN kyo-Ya(南花島中町196)
- はれの日サロン(常盤平3-11-1 西友常盤平店5階)
- いわぼんホール(岩瀬38)
- さんさんカフェ(仲井町2-6-4)
- omusubi 不動産 (総台1-21-1 あかぎハイツ112)
- Coworking Space Flat Café & Bar (新松戸3-289)
- 昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿 (千駄堀620-1・栗山19-4・殿平賀75-2)
- 松戸スタートアップオフィス (松戸1307-1 松戸ビル13F)
- みんなの居場所そらいろ House ふらここ (五香4-53-1-101)
- まちかどアトリエ Neiro (松戸1117 ビラ松濤2F C号室)

## まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)  
TEL:047-365-5522 FAX:047-365-5636  
E-mail: hai\_saposen@matsudo-sc.com  
URL: http://www.matsudo-sc.com/  
facebook: https://www.facebook.com/matsudo.sc

開館時間  
月～土:9時～21時  
日:9時～17時

休館日  
第1・第3水曜、  
年末年始  
(12/29～1/3)



## 「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します！

ニュースレター「ぼっく」をお店や施設に配架していただけませんか？ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。

## 編集後記

今年の梅雨は雨が少ないうような気がします。熱中症への注意も必要な時期になってきました。水を大切に、水分補給も心がけて過ごしたいと思います。(こ)